

医療費改悪の患者負担への転化は反対！ 医療保険制度に関する学習会開く

1月23日、退職者連合は連合会館2階会議室で「医療保険制度に関する学習会」を開いた。JAMシニアから大山・豊泉が参加した。

退職者連合は、新年度の活動として重要テーマの学習を積極的に推進、年金と介護に続いて3回目の学習会の開催となった。当日は西日本と東北地方を中心に降雪の影響を受けた人も見られたが、退職者連合加盟の産別組織や地方代表など約100名が会場会議室をビッシリと埋めた。

講師には厚生労働省保険局・高齢者医療課の泉潤一課長。内容は1月20日に召集された第193通常国会における「医療保険制度の改正」(案)の内容について審議経過を含めて説明したもの。阿部会長の挨拶から始まり質疑では“制度の改悪ではないか”など課長と会場との真剣なやり取りがされシニア世代の医療制度への関心の高さを示した。

阿部会長は主催者挨拶で「社会保障制度の充実を求めて政府や自治体に要請する場合、社会保障制度の仕組みや問題点をしっかりと把握しておくことが必要だ。そのため昨年8月から厚生労働省の担当官を講師に呼んで学習会を開催してきた」と開催の主旨を語り、そのうえで「通常国会には医療制度の改正案が提出される。内容は一言でいえば、高齢者に対し、負担増を求める一方で給付を削減するものになっている」と強い口調で指摘。「医療費に必要な財源は保険料で賄うべき。財界が保険料の引き上げに反対するからといって、医療費の財源を患者負担に転化してはならない」と改正案の内容に厳しく注文をつけた。

講演は①高齢者と医療の実態②日本の高齢者医療制度③高額療養費制度(70歳)④後期高齢者医療制度の保険料軽減特例⑤医療保険制度の見直し⑥保険事業について解説をつけながら政府の考えを明らかにした。

質疑では①臨時収入があり窓口での負担が3割になったが納得がいかない。②後期高齢者医療の保険料軽減特例の区分見直しの狙いはいか、また年金収入との関係はどうなるのか。③高額療養制度の年収370万と770万の区分はどう決まったのか。④改革工程表にある金融資産を含めて自己負担を決めるのは問題だ。⑤財政議論ばかりで医療の理念や社会性から制度を議論しているのか。⑥社会保障費の伸びを5000億に抑えるのが狙いだ。この改悪で何年持つのか。など踏み込んだ厳しい質問や指摘をする発言が続いた。

夏の都議選を視野に意志固め

ビンゴゲームで盛り上がる

東京 小川秀樹 通信員

1月19日(木)、渋谷JAM金属労働会館大会議室に会員43名、来賓他7名、総勢50名の皆さんが集まり、新年の顔合わせと今年の活動充実を祈念しての旗開きが開催された。

冒頭、古家会長から会員交流・街歩きや講演会など今年の活動の一部に触れ、さらにこの夏にある東京都議会選挙では現役の方針に沿った展開をしていくので、交流活動参加とともに会員の皆さんのご協力をお願いする旨の代表挨拶がされた。

その後、JAM東京千葉・橋本書記長、シニアクラブ本部・大野事務局長、千葉シニア・畑山会長、津田智紀前大田区議、川上西多摩地協議長、全労済・神谷係長、ご来賓の皆様のご連帯のご挨拶を受けた。

懇親会に入り、あちらこちらのテーブルでは欠席者のアイツどうしてる、お薬解説、健康自慢、など久しぶりの会話が弾んでいた。宴中盤になり恒例のビンゴ大会が始まり、ビンゴ完成百円カンパと引き換えのスクラッチくじや、各種の景品(外れ無し)、特に今年の日玉景品の「焼酎・佐藤」「日本酒・久保田紅寿」の争奪で大いに盛り上がった。カンパ金5886円はJAM東京千葉福祉カンパに寄付された。



第23回定期総会を開催

市議会議員選挙候補者支援を特別決議

静岡 二村政司事務局長

1月20日の午後、第23回総会をJAM静岡会館で行った。新聞会長の挨拶を皮切りにJAM静岡代表、シニアクラブ大山会長より祝辞をいただいた。16年活動報告・決算報告、17年活動計画・予算案の審議を行い全会一致で承認された。活動計画では、会員加入拡大に向けて単組の現役役員の協力もいただきながら一層の強化をしていくこと。会員皆さんが参加しやすいブロック活動を進めていくことが確認された。特別決議として、春に行われる3市の市議会議員選挙に、3人の組織内候補が立候補するにあたりOB会として支援することを決議した。その後、立候補予定者3人から力強い決意表明がされ、無事に総会を終えた。

総会に続いて、前参議院議員の津田やたろう氏から講演をいただいた。12年間の議員活動を振り返っての熱い思いや感想、議員を終えたからこそ話せることなど、大変興味深いあつという間の1時間であった。

事務局長・二村政司

